

宝塚大学 東京メディア芸術学部

NEWS LETTER

Vol.120 | 2024.8 | TAKE FREE



クリアソン新宿の選手

2次元キャラ化プロジェクト



Featured person in TAKARAZUKA 西岡悠妃ゼミ 大塚詩月 & 川口貴弘准教授

づからいふ 第11話 天才絵師現る!?! / HOT TOPICS



クリアソン新宿の選手 2次元キャラ化プロジェクト



宝塚大学 × クリアソン新宿

本学はクリアソン新宿と、2022年から「クリアソン新宿の選手2次元キャラ化プロジェクト」を実施しています。クリアソン新宿は、新宿を拠点に世界一を目指し、日本フットボールリーグ（JFL）に参戦しているクラブサッカーチームです。本学と2021年4月に包括連携協定を締結しており、5つの専門分野の教育研究を活かして連携をしています。

制作グッズ紹介



ちびキャラホログラムシール

各選手のちびキャラをホログラムシールにしました。表面には選手のちびキャラとサイン、裏面には「プレーのとくちょう」などのプロフィールが記載されています。

フェイスヘアゴム

選手の顔がアクセントのヘアゴムです。髪の毛を結ぶだけでなく、色んな場所に巻き付けて自分の応援している選手をアピールすることができます！



イケメン化▶メディアデザイン分野

渡邊ゼミ2年 辻桃子 さん

めっちゃ大変でした！！！！ですが、勉強になることも多く、スキルアップできたと実感しています！！！！

ちびキャラ化▶メディアデザイン分野

渡邊ゼミ2年 横森紗名 さん

大学院の先輩が描いたものを受け継ぐ形で今回手伝わせて頂きました。先輩の絵柄を真似しつつ、自分の個性も出すのが大変でした。



澤井直人選手インタビュー

今回のプロジェクトについてインタビューさせていただきました！

澤井直人(さわい・なおと) MF 14

埼玉県出身。ポジションはMF。2014年から東京ヴェルディに所属し、2018年ACアジャクシオ(フランス)に移籍。移籍期間満了に伴い、2019年に東京ヴェルディに復帰。その後2020年にレノファ山口FCへ加入した。クリアソン新宿には2022年から所属。

自分がイケメン化・ちびキャラ化された感想は？

まさか自分がキャラ化してもらえると思っていなかったで、とても嬉しかったです！選手の特徴をうまくとらえているなと感じました。また、ちびキャラホログラムシールを制作していただいた際には、幼少期に似たようなシールが大好きで集めていた選手も多いので、ものすごく感動していました(笑)

新しいグッズのヘアゴム、選手の皆さんの反応はいかがでしたか！？

まずは、キャラ化された新グッズを選手はとても楽しみにしています。また、アニメ好きのみなさんの間でフェイスヘアゴムグッズが流行っていることに、選手はビックリしていました。(笑)そして、髪を結ぶだけでなく、水筒に巻きつけたりカバンにつけたりとさまざまな用途があるのだと知りました。

今後グッズを展開するにあたり、どんなファンに手にとってもらいたいですか？

2次元キャラが「ぬいぐるみ」、「卓上カレンダー」、「トランプなどのカードの絵札」に活用されたいなと思っています。ファンの方からは、グッズ化を喜ぶ声をたくさん聞いています！実際に推しの選手キャラグッズを集めたり、グッズ交換したりしている方もいらっしゃいました。

澤井選手からのメッセージ！

我々クリアソン新宿は試合を見に来ていただいたファンの方々に、試合だけでなく場外のグッズブースやスタジアムグルメでも楽しんでいただき、誰もが楽しめるスタジアム作りを目指しています。そんな中で、宝塚大学の学生さんたちと素晴らしいグッズを創り上げられたことを大変嬉しく思います！これからもどうぞよろしくお願いします！！

お忙しい中インタビューに答えてくださり、ありがとうございました！



『新宿の日』ブース出展 (2022)

◀ちびキャラの「ランダムアクリルキーホルダー」と来場者の似顔絵をその場で描いて缶バッジ化する「似顔絵缶バッジ」を販売しました。また、フォトブースの設置やタペストリー展示も行われました。



2024年6月7日(金)「新宿の日」にクリアソン新宿 × FCティアモ枚方戦に招待していただきました！



デジタルの知識がなくても、 1から学ぶことで実力が身につく

大学はイラストを学べるところがいいと思い、いくつかの学校を調べたのですが、描くスキルだけを学ぶのは違うなと感じていました。一方、宝塚大学のイラストレーション分野では絵を描くだけでなく、キャラクターデザインやグラフィックデザイン、Webデザインなどの幅広い表現を学べると知りました。さらに夏のオープンキャンパスに来た時、図書館にデザイン系の書籍が並んでおり、新宿駅からすぐという立地にも魅力を感じて受験を決めました。

入学してみると1学年の人数が少ないので先生との距離感が近く、分からないことはすぐに質問しに行ける環境がありがたかったです。子どもの頃からイラストを描くことが好きだったものの、実はiPadなども使ったことがありませんでした。入学後は1から教えてもらえて、またプロとして活躍されている先生たちの授業を通して、アナログとデジタル両方の実力を付けることが出来ました。



あえての“がむしゃら”さも必要。 話を聞きに行ける環境が魅力

1年次ではグループワークで進めた授業が印象に残っています。課題をみんなで助け合って制作するので、そこで友だちが出来たのも嬉しかったです。

2年次で忘れられないのは、毎週課題を提出する「視覚伝達論」。こちらは1人で作成するのですが、“デザインの考え方”を鍛えられました。

他にもゼミでは先生に親身になって相談に乗っていただき、自分がどんな絵を描きたいかの軸を定めることが出来ました。

4年次になった今、感じているのは人脈の大切さ。私は「△△がやりたい」と思ったら、そういう仕事をされている先生や詳しい友人にすぐに聞きに行きます。話を聞くだけでもためになりまし、実際に「じゃあ、やってみる？」と声をかけてもらうことも。将来クリエイティブな仕事をしたいなら、そういう“がむしゃら”なところも必要だと思いますし、そういうことが出来る環境が整っているのがこの大学の魅力だと思います。



入学後のさまざまな学びが 自信になり、可能性が広がった

今インターンに行っているデザイン事務所も、ラフォーレ原宿で催されていたデザインイベントに行ったのがきっかけです。展示の中にとっても好きなプロダクトがあり、その感動をそのままデザイナーの方に伝えたとこ、アシスタントにと言っていたけました。熱意が伝わったことももちろん「宝塚大学でこういうことを学んでいます」と自信をもって言えたのも大きいと感じています。

授業以外にもダンスサークルを作って活動したりと、オン・オフ共にさまざまな経験が出来たのも良い思い出です。サークルではオリジナルキャラクターのグッズを作ったのですが、予想以上の売れ行きだったんですよ（笑）。あと数ヶ月で卒業となりますが、好きなコンテンツに関わることができる仕事を目標に、最後まで学びを続けていきたいです。

Otsuka Shizuki 大塚詩月

埼玉県出身
2002年生まれ
埼玉県立浦和北高等学校卒業
西岡悠妃ゼミ4年生

Kawaguchi Takahiro 川口貴弘准教授

多摩美術大学美術学部デザイン科
グラフィックデザイン専攻卒業。
京都芸術大学大学院芸術研究科修士
MFA取得。「学童舎」主宰。
日本マンガ学会会員。
日本デザイン学会会員。

先輩と先生に注目して宝塚大学を知ろう！

My Favorite

視覚伝達論

担当教員：松吉太郎講師



毎週の課題を乗り越え、 インターンの現場で成長を実感

グラフィックデザイナーで、ブックデザインやポスター、ロゴなどを手がけていらっしゃる松吉太郎先生の授業です。イラストレーションとデザインの2つを結ぶ授業は貴重で、毎週提出する課題では、完成形だけでなくデザインの意図も徹底的に考える習慣が身につきました。プロの視点から時には厳しいフィードバックもいただきましたが、その時の苦勞があったからこそ成長につながったのだと思います。デザイン事務所でインターンをしている今、「アイディアを5つ出してほしい」と言われてすぐに対応できるのも、松吉先生の授業のおかげと実感しています。

WORK

100年後に残る作品を創る 作家の育成を進めています



©CCCメディアハウス

マンガ作品の 新たな“価値”を伝える キュレーションを

これまで雑誌『Pen』の手塚治虫特集で総合監修を手掛けたり、寄稿やトークイベントに出演したりと、手塚作品を研究する者として、また創作現場を間近で見た者の1人としてさまざまな立場で携わってきました。2028年にはいよいよ「手塚治虫 生誕100年」を迎えます。実は大学院でMFA（芸術修士）を取ったのも、大英博物館で催されたMANGA展『The Citi exhibition Manga』で「赤塚不二夫 Original Gagsta」のデザインを担当したことがきっかけ。マンガがアートとして確立している現場を見て、今度はキュレーターとして手塚作品の魅力を伝えたいと思いました。まだ個人レベルでの意気込みなのですが（笑）、鋭意準備中です。

世界的なアートの 一領域となった「マンガ」

今年から着任して、「日本漫画史」と「現代漫画文化論」、そして「総合芸術論」を担当しています。私はグラフィックデザイナーとして活動していますが、少年時代にまず興味をもったのはマンガです。中でも手塚治虫先生の作品に衝撃を受け、手紙を送るほどのファンになりました。当時は漫画家の家に読者が訪ねることも珍しくなく、中学生の頃には手塚プロダクションへ遊びに行くように。その後手塚先生は他界され、大学ではグラフィックデザインを専攻することになりましたが、間近で手塚先生の創作活動を見られたことは忘れられない経験です。

以降もマンガ文化への興味は抱き続け、40代で入った大学院では現代アートを学んで「マンガ×デザイン×アート領域」の研究を始めました。ロンドン大英博物館に「マンガ」のコーナーがあるほど、今やマンガはアートの一領域です。

授業ではこれからますます注目されるであろうマンガの“価値”とその変化について、詳しく伝えていきたいと思っています。



変化する“価値”の意味を 多角的な視点でとらえる

「日本漫画史」では、各時代に活躍した作家がなぜその作品を描こうと思ったのかを、時代背景を踏まえて解きほぐしていきます。創造の動機に想像力を働かせることは、作品を理解する手助けになるでしょう。「現代漫画文化論」ではマンガ展覧会やマンガミュージアムの成り立ちを学びながら、“価値”とは何かを考えていきます。

マンガは「複製芸術」（絵画などの1点ものではなく、印刷など複製することで人々の目に触れる作品）ですから、以前は原画が捨てられていたんですね。もちろん、今では海外のオークションで取り引きされるまでになりました。同じ物でも時代によって変化する“価値”の意味を、多角的な視点でとらえ直します。

また「総合芸術論」では、“時間意識”や“ガイア理論（宇宙からの眼差し）”などを学びます。聞かれない言葉かもしれませんが、手塚治虫の『火の鳥』を読んだことがある人ならイメージできるのではないのでしょうか（笑）。アーティストならではの“未来から現在を見つめる眼差し”は、私たち読者にとっても大きな気づきを与えてくれるのです。



「気づきと観察」の力を蓄え 卒業後の夢につなげて

学生時代には本物にたくさん触れて、見る目を養ってほしいと思っているので、本学が新宿駅からすぐの好立地にあることは大きな利点だと感じています。映画館や美術館、博物館などどこに行くにも便利です。都内には無料のギャラリーなども多いですから、積極的に足を運んでほしいと思います。変化の激しい時代を乗り越えるには、いろいろな視点から物事の本質をとらえることが重要です。授業を通して「想像力×創造力」の意識を身につけ、「気づき（発見）と観察（調査）」を進めることで、卒業後の夢につなげてください。学生時代に描く夢は、手の届かないくらい大きいほうがいいと思います。なかなか見つからない人は自身の“創造の動機”まで戻って、ぜひ私と一緒に探していきましょう。



作：大島龍之介(大学院2年)

HOT TOPICS

宝塚大学の最新ニュースを **(要)check!**

● サガン鳥栖「ウイントス・ジュニア」マンガコンテンツを制作・配信! ジャスミー株式会社の産学連携 ●

● 本学とジャスミー株式会社はマンガ(文化)を通じて、スポーツ、大学、企業の融合による取り組みとして産学連携し、佐賀県鳥栖市を拠点とするプロサッカークラブサガン鳥栖の応援プロジェクトとして、サガン鳥栖ファンタム・マスコットキャラクター「ウイントス・ジュニア」のマンガコンテンツ「ウイントス・ジュニア」のサッカーやろぜ」の制作を行っています。

5月24日(金)よりサポーター活動アプリ「サガン鳥栖ファンタム」内で、学生がネーム、作画、新規のキャラクターデザインを担当する第2話以降の各エピソードが順次配信されています。多様性をテーマにウイントス・ジュニア3兄弟の冒険と成長が描かれた作品です。兄弟たちが暮らす「鳥栖市」のようで鳥栖市ではない都市から、サッカーと一緒にプレーする仲間探しの旅へと出発します。

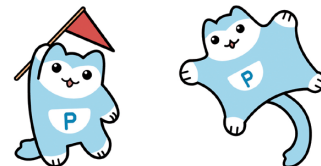
同アプリでは、チームの最新情報の配信や、商品やサービスと交換できるDDポイントを貯めることができます。



● 産学連携プロジェクト「ANA Pocket キャラクターデザインコンペ」を開催 ●

● 本学とANA X株式会社は、「ANA Pocket キャラクターデザインコンペ」を開催し、ANA Pocketの公式キャラクターを選出しました。

3年生佐藤美優(さと う・みゆ)さんが制作した「ふわもちゃん」が選出され、2024年8月から移動を応援するガイドとしてANA Pocketのアプリに登場します。キャラクターの誕生により、エンタメ性を高め、さらなる移動のモチベーションの向上に応援します。



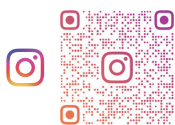
Copyright © ANA X
※ANA Pocketのキャラクターとして選出されたデザイン(「ふわもちゃん」)

● 青田めい助教の漫画『オールドヨコハマラジオアワー』第1巻が5月11日(土)に発売! ●

『まんがタイムきららフォワード』にて青田めい助教が連載中の漫画『オールドヨコハマラジオアワー』コミックス第1巻が5月11日(土)に芳文社より発売されました。大好きな、毎週欠かさず聞いているラジオ番組がある日突然「終了」のお知らせ。愛する番組の終了を食い止めるため、たつたひとりでタイムリープを繰り返して立ち向かう、時空を超えた熱すぎる「推し活」の物語です!



イベントや制作などの様子を学生目線で発信! /
宝塚大学 東京メディア芸術学部 学生広報チーム



宝塚大学
OPEN CAMPUS 2024

詳しくは右下二次元コードから大学公式サイトへ!

8/24(土) 8/25(日) 10/6(日) 11/10(日)
[10:00-15:00] [10:00-15:00] [10:00-15:00] [10:00-15:00]

